

令和5年度九州沖縄農業試験研究推進会議
畜産・草地推進部会 畜産環境研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 畜産・草地推進部会長
(九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域長)

- 趣旨: 基幹的農業従事者数は平成2年の293万人に対して令和2年136万(平均年齢67.8歳、60代以下67万人)と減少・高齢化が進行し、労働力不足が深刻な問題となっている。また、農業現場では人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多く、省力化、人手の確保、負担の軽減が重要な課題である。そこで、食料・農業・農村基本計画(令和2年)では、生産現場の課題を先端技術で解決する「農業分野におけるSociety5.0の実現」のために、ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業であるスマート農業の加速化を掲げている。これに基づいて、農林水産省では現在「スマート農業プロジェクト」の下で技術開発と現地実証を推進している。畜産環境関連では、家畜排せつ物の肥料利用を促進し化学肥料を削減すると共に環境負荷の低減することを目的に、先端技術を実際の生産現場に導入することによる経営改善の効果を明らかにする「スマート農業実証プロジェクト」等が進められている。今年度の研究会では、「スマート農業実証プロジェクト」等で実施している家畜排せつ物処理・利用関連の課題の紹介を行い、九州管内でのこの方面の取り組みについて議論する。
- 開催日時: 2023年12月11日(月) 13:10~15:30
- 開催形式: Web開催(Teams)
(注: URL等は、研究会事務局から送付する開催要領に記載しています)
- 参集範囲: 九州農政局、沖縄総合事務局、九州・沖縄各県の試験研究機関、行政機関、普及機関、家畜改良センター、大学、独立行政法人研究機関、その他関係者
- 概要
 - 部会長挨拶 13:10~13:20
 - 研究会: 最新技術を利用した家畜排せつ物処理・利用研究(講演)
 - スマート農業に関して(20+10分) 13:20~13:50
農研機構畜産研究部門つくば研究拠点 高度飼養技術研究領域 スマート畜産施設グループ
上級研究員 小島 陽一郎
 - 集中型バイオガスプラントにおける酪農糞尿と都市固形廃棄物の嫌気性共消化(15+5分) 13:50~14:10
九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究部門肉用牛生産グループ
主任研究員 アンディア フェトラ
 - 牛ふん堆肥と蒸製肉骨粉を利用した指定混合肥料の開発(15+5分) 14:20~14:40
九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究部門肉用牛生産グループ
グループ長補佐 田中 章浩
 - 豚ふん堆肥ペレットの広域流通促進システムの開発・実証(15+5分) 14:40~15:00
NPO 法人九州バイオマスのフォーラム
理事長 薬師堂 謙一
 - 畜産環境関係の研究課題(新規課題)の検討 15:00~15:20
新規課題の検討
 - 試験推進上の問題点、共同研究等に関する討議、その他(推進会議、研究会の進め方等) 15:20~15:30

6. 参加申し込み、検討を望む課題概要書の送付先

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 肉用牛生産グループ 田中章浩

TEL : 096-242-7759 FAX : 096-249-1002 (代) e-mail: atanaka@naro.affrc.go.jp

7. 申込期限 2023年12月1日(金)